

あき しひょうしゅ いちらん 秋の指標種一覧

アプリでいきもの調査の対象となる秋の指標種は以下の種類です。

次のページ以降の、指標種の写真と特徴を参考に探してみましょう。太字は身の周りで見られる身近な種になります。

ぶんるい 分類	しひょうしゅ 指標種	み 見られる場所	なんいど 難易度
しょくぶつ 植物	ススキ	そうち あきち 草地、空き地	☆☆
	ナガエツルノゲイトウ	かせん すいろ こしやう すいでん 河川、水路、湖沼、水田	☆☆
ほにゅうるい 哺乳類	アライグマ	もり はたけ かわ し が い ち 森、畑、川、市街地	☆☆☆
	カヤネズミ(球巢)	せ たか そうち かせんじき 背の高い草地、河川敷	☆☆☆☆
ちようるい 鳥類	コサギ	かわ すいでん 川、水田	☆☆
	サシバ	さとやま きゅうりやう すいでん 里山、丘陵、水田	☆☆☆☆
	カワセミ	かわ こうえん いけ 川、公園の池	☆☆☆
	コゲラ	もり じゅじやう 森、樹上	☆☆☆
	モズ	そうち かせんじき 草地、河川敷	☆☆☆
	シジュウカラ	もり こうえん し が い ち はやし 森、公園、市街地の林	☆☆
はちゅうるい 爬虫類	アカミミガメ	かせん こしやう いけ 河川、湖沼、ため池	☆☆
	ヒガシニホントカゲ	みんか ろぼう そうち いしがき うえ 民家、路傍、草地、石垣の上	☆☆
	ニホンカナヘビ	そうち りんえん みんか 草地、林縁、民家	☆☆
こんちゅうるい 昆虫類	アキアカネ	すいでん そうち 水田、草地	☆☆
	ツマグロヒョウモン	そうち し が い ち こうえん 草地、市街地、公園	☆☆
	アカボシゴマダラ	し が い ち りんえん 市街地、林縁	☆☆
	ナガサキアゲハ	りんえん かじゅえん こうえん 林縁、果樹園、公園	☆☆☆
ていせいどうぶつ 底生動物	タニシ類(マルタニシ・ヒメタニシ)	すいでん すいろ 水田、水路	☆☆☆

指標種の見つけ方・特徴

ススキ



- ◆ 山野や空き地、路傍の日当たりの良い場所で見られるイネ科の大型の多年草。
- ◆ 高さ1～2m。茎は株立ちし、大きな株となる。
- ◆ 花は穂状で長さ10～30cm程度、穂の毛は白、時に紫色になる。種子の先端に長い突起がある。秋には穂が金色に輝く。
- ◆ よく似たオギには種子の先端に長い突起がない。また、オギは水辺や湿地に自生することで識別できる。

ナガエツルノゲイトウ



- ◆ 河川、水路、池などに群生するヒユ科の多年草。
- ◆ 南アメリカ原産。特定外来生物に指定されている。
- ◆ 高さは10cm～数10cm。
- ◆ 繁殖力が旺盛で、マット状の大群落となる。千切れると千切れた断面から再生するため、駆除が困難。
- ◆ シロツメクサのような白い球状の花をつける。

アライグマ



- ◆ 雑食の中型ほ乳類。
- ◆ 特定外来生物に指定されている。
- ◆ 夜行性で、森林、湿地、農耕地、市街地に生息している。
- ◆ 灰褐色の体毛と、目の周囲の黒い模様が特徴。長いしっぽに黒い輪模様がある。
- ◆ アライグマは足跡が特徴的。他種と見分けが付きやすい。
- ◆ タヌキやイヌの足跡と違って、アライグマの足跡はヒトの手形のように5本の指と手のひらがくっついた形状。
- ◆ 足跡は水路沿いの砂地、畑の土などに残りやすい。

指標種の見つけ方・特徴

カヤネズミ(球巢)



- ◆ 背の高い草に生息する小型のネズミ。生体は発見が難しい。
- ◆ 高さ約 70cm のところに草を集めた球状の巣を作る。ススキ、チガヤ、エノコログサ、スゲ類が巢材。
- ◆ 河川敷や、低地の草地、農耕地、沼地など植物が密生し、水気のある場所が狙い目。

コサギ



- ◆ サギの仲間の鳥類。サギ類の中では小型で全長は約 60cm。
- ◆ 昼行性であり、水田、河川、湖沼、湿地、干潟に生息し、魚類や両生類を採食する。
- ◆ 体が純白であるのに対して、くちばしが黒色、足先が黄色であるのが特徴。

サシバ



- ◆ 里山や丘陵に生息する猛禽類。渡りを行う。日本では 3～10月に見られる。
- ◆ 大きさはカラスと同じくらいで、全長約50cm。全体的に茶色いが、腹に横縞がある。
- ◆ 水田の周りの樹木や電柱の上から地上を見張り、獲物を見つけると飛び降りて捕まえる。カエルなどの両生類やトカゲ・ヘビなどの爬虫類を餌とする。
- ◆ 「ピックイー」と高い声で鳴く。

指標種の見つけ方・特徴

カワセミ



- ◆ 水辺に生息する鳥類。全長は約17cm でスズメよりやや大きめ。
- ◆ 大きくくちばしと、青色と橙色の体色が特徴の人気鳥。
- ◆ 春から夏にかけて繁殖期となり、活動が活発になる。
- ◆ 魚や水生昆虫を餌とする。川辺の木の枝などに止まって獲物を探す姿が見られる。

コゲラ



- ◆ キツツキの仲間の鳥類。全長は約15cm。
- ◆ 昼行性で、樹木の多い公園にも生息している。細い幹や、小枝を好む。
- ◆ 「ギー」という低い声を出す。
- ◆ シジュウカラ類と群れになって後方からついていく。
- ◆ 硬い羽軸のある尾羽を木の幹にピッタリつけて、両足と尾羽の3点で体を支えているのが特徴。

モズ



- ◆ スズメより一回り大きい鳥類。全長は約20cm で太めの体型と細長い尾が特徴。
- ◆ 疎林、林縁、木のある草地、農耕地、公園、畑地に生息している。尾を上下に振り、獲物を待っている。
- ◆ 「キィー」という高鳴きをする。
- ◆ 枝や有刺鉄線で、はやにえを見ることができる。
- ◆ 夏には数を減らし、多くの個体が山地や北部に移動する。

指標種の見つけ方・特徴

シジュウカラ



- ◆ 日本で最もよく見られる野鳥の一種。全長は約15cm。
- ◆ 市街地の公園から森林まで広範囲に生息している。6匹以下の小さな群れをつくる。
- ◆ 昆虫類やクモ類、木の実を餌とし、地上で採食する。
- ◆ 胸から腹にかけてあるネクタイのような太い黒い線が特徴。

アカミミガメ



- ◆ アメリカ原産の雑食のカメ。別名ミドリガメ。
- ◆ 全長は20～30cmほどになる。
- ◆ 側頭部の赤色の筋模様が特徴。幼体は全身が鮮やかな緑褐色で、成長とともに鮮やかさは失われる。
- ◆ 河川や湖沼、ため池などに生息する。
日本では野生化したものが定着し、在来カメの生息を圧迫している。
- ◆ 野外への放出、販売・購入が禁止されている条件付特定外来生物である。

ヒガシニホントカゲ



- ◆ よく見られるトカゲ。全長約20～25cm。
- ◆ 幼体は黒い体に黄色い筋が入り、尾はコバルトブルーだが成長とともに尾の色は失われる。
- ◆ 民家の庭、畑、道路わきの斜面などに生息する。
- ◆ ミミズ、コオロギなどの昆虫類を餌とする。
- ◆ 体を温めるためにしばしば石垣やコンクリートの上で日光浴をしている様子が見られる。
- ◆ 危険を感じると尾を自切り、おとりにする。
- ◆ 西日本に生息するニホントカゲとは別種であることが分かった。

指標種の見つけ方・特徴

ニホンカナヘビ



- ◆ 日本固有のトカゲの仲間。全長約20cm。
- ◆ 背面は光沢のない茶色でかさついたうろこにおおわれている。目の下から体に沿って白い線が走る。尾が長く、体の半分以上になる。
- ◆ 落ち葉や草むらの間に生息する。
- ◆ 昆虫やクモ類を餌とする。

アキアカネ



- ◆ 中型のトンボ。いわゆる赤とんぼで、日本人になじみのあるトンボ。
- ◆ 体長は 30～45mm。
- ◆ オスは成熟すると腹が赤くなる。メスは腹が淡い褐色もしくは背中が赤くなる。
- ◆ 平地で羽化した個体は涼しい山地へ移動して夏を過ごす。秋になり成熟すると平地へ降りてくる。湿地や水たまり、稲刈り後の水田に産卵する。卵のまま冬を過ごし、春に孵化し幼虫となる。成虫が見られる時期は 6～10月。

ツマグロヒョウモン



- ◆ 中型のチョウ類。
- ◆ オスの表はヒョウ柄の模様で、メスは外側に青色光沢の模様がある。
- ◆ 平地から丘陵地の明るい草地に生息する。スミレ科の植物を食草とするため、パンジーの植栽の多い都市部でよく見られる。
- ◆ 日中、低い場所を緩やかに飛翔し、花を訪れる。

指標種の見つけ方・特徴

アカボシゴマダラ



- ◆ 中型のチョウ類。関東地方で見られる個体は、中国大陸原産の外来種である。
- ◆ 特定外来生物に指定されている。
- ◆ 表は白色の地色に黒色の脈が入り、後翅の外側に赤の模様が入る。
- ◆ ゴマダラチョウに似るが、本種には赤の模様があることで識別できる。街路樹や公園樹木として使用されるニレ科のエノキなどを主食とするため、市街地でも見られる。河川沿いにも多い。

ナガサキアゲハ



- ◆ 大型のアゲハ蝶。
- ◆ 東アジアや東南アジアに分布し、1920年ごろまでは九州や四国南部にしか分布していなかったが、温暖化の影響で分布が拡大し現在は関東地方でも普通に見られるようになった。
- ◆ ミカン類の葉を主食とするため、ミカン畑の周りに多い。
- ◆ よく似たクロアゲハとの識別点は、ナガサキアゲハは翅の付け根が赤くなること、後翅の先の尾状突起がないこと。

タニシ類(マルタニシ・ヒメタニシ)



※写真はマルタニシ

○マルタニシ

- ◆ 淡水性の巻貝。佃煮などにして食用される。
- ◆ 殻の高さは60mm、殻の径は約44mm、殻の層は6層。丸みを帯びた形状である。
- ◆ 水田、池沼、水路に生息する。底泥や水生植物に付着している微小生物を餌とする。
- ◆ 農薬等による水質汚濁や用水路のコンクリート化などで、近年生息数が減少している。

○ヒメタニシ

- ◆ 淡水性の巻貝。殻の高さは35mm程度でマルタニシより小型。小川、水路、池沼に生息し、汚れた水にも強い。